

入園児利用調整の実施、将来的には保育園の再編へ

令和7年7月17日(木)に令和7年度第1回保育所等のあり方検討委員会が開催されました。保育所等のあり方検討委員会では、「近年の未満児保育の需要増加など多様化する保育ニーズを踏まえ、**待機児童を出さないほか、延長保育や障がい児保育、一時預かり事業など様々な保育を提供し、将来にわたり安心・充実した子育て環境を実現する。**」ことを目的に市の保育施設のあり方について検討しています。

1 市の保育施設の現状と課題

就学前児童数が減少とともに、今後保育施設を利用する3歳以上児は減少しますが、核家族化や育児休業の拡充等により、3歳未満児の利用数は、横ばいから微増で推移する見込みです。

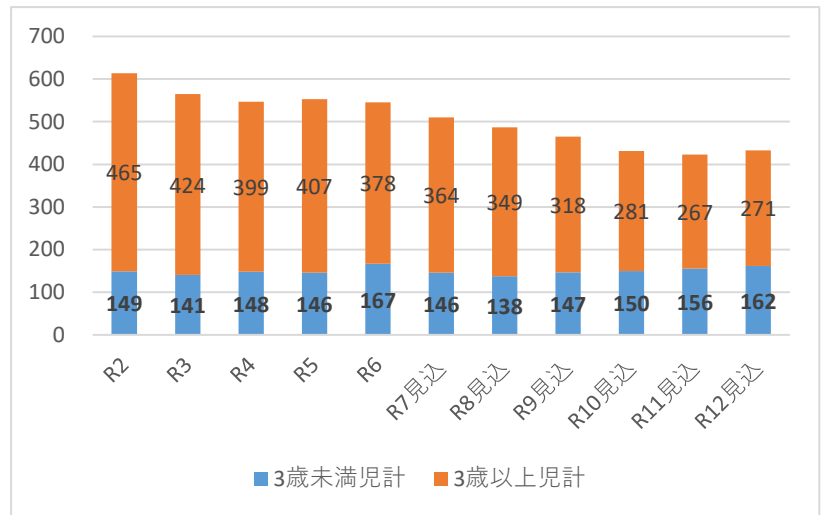
公立保育園では、3歳未満児や個別の支援が必要なお子さんに対応するほか、一時預かり事業や園開放など地域のニーズに対応した子育て支援事業を実施しており、**保育士が充足しているとは言えない状況**です。

特に、**小規模園では、保育士不足により年齢の異なるお子さんを同じクラスでお預かりせざるを得ない状況**となっています。

◎長時間(延長)保育の状況

各保育園は、7:30から19:00まで開所し、早朝と夕方の長時間(延長)保育を実施しています。長時間保育は全ての保育園で利用があり、ニーズの高い事業ですが、長時間保育を担う職員が年々減少しており、**今後5年程度で保育園では、現在の開所時間が維持できなくなることが予想**されます。

○保育施設利用者数の推移(各年度3月31日現在)



○長時間(延長)保育利用者数(令和7年6月現在)

園名	早朝(7:30~8:30)		夕方(16:30~19:00)	
	3歳未満児	3歳以上児	3歳未満児	3歳以上児
はなのき保育園	20	30	12	25
あすなろ保育園	10	22	5	10
しらかば保育園	1	8	1	8
どんぐり保育園	3	8	4	9
たけのこ保育園	2	2	2	2
くるみ保育園	7	15	2	15
合計	43	85	26	69

このままでは・・・

- ・ 3歳未満児に待機児童が発生する可能性が高い。
- ・ 早朝、夕方の長時間保育ができない園が発生する。

◎民間保育施設の状況

市内には、3つの認定こども園と1つの家庭的保育事業を実施する民間保育施設があります。このうち認定こども園は、**3園とも公立保育園より新しい施設で、2歳以上(一部1歳児の利用も可)のお子さんを7:30~18:30まで預かる**ことができます。それぞれの認定こども園は、**特色ある教育を実施**しており、大町市の子育て環境にはなくてはならない施設となっています。

また、家庭的保育事業を実施するきらり大町総合病院園は、3歳未満児のみを預かる小規模保育施設です。

2 課題解決のための具体的な取組み

未満児保育や長時間保育を安心して利用できる環境を整えるため、次のような取組みを実施することとなりました。

◎入園児利用調整の実施（令和9年4月から）

市の公立保育園の喫緊の課題は、需要が増加する0歳児・1歳児の入園希望に対して、待機児童を**出さず、安全・安心な保育を実施すること**です。そのために、令和9年4月からは、**公立、私立の全ての保育施設の入園を市で調整する**利用調整を実施します。

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none">待機児童が出にくい公平性の担保公立保育所と認定こども園の役割分担民間保育施設の経営安定化	<ul style="list-style-type: none">兄弟で異なる利用園の可能性昨年度通った園と異なる園になる可能性（3歳以上児を除く。）

◎公立保育園の再編による保育士の集約化（実施時期未定）

現在7か所ある**公立保育園を再編し、保育士の配置の適正化を行い、開所時間（7:30～19:00）の維持又は拡充、未満児保育、長時間保育、障がい児保育等の多様な保育ニーズへの対応、年齢に応じた適切な集団保育の提供**を行います。

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none">現在の開所時間の維持又は拡充ニーズが増加する未満児保育に対応異年齢クラスの解消と適切な人数の集団保育の実施無理のない受入れによる保育の質の向上保育士の働き方の改善と安定的な雇用施設の維持管理費用の軽減	<ul style="list-style-type: none">通園する園が遠くなる可能性一時的に改修工事（未満児クラスの増設など）による改修費の増

◎民間保育施設の有効活用

認定こども園の特色ある教育など、保育園とは異なる魅力を保護者に感じていただける機会を創出しながら、2歳以上のお子さんの認定こども園の利用を促進します。2歳以上のお子さんを今まで以上に認定こども園でお預かりできる体制とすることで、保育園では、0歳児、1歳児、要支援児など、需要が増加する保育ニーズに対応します。

取組みにより・・・

将来的にニーズが高くなると見込まれる「長時間保育・未満児保育・一時預かり事業」などに対応し、子育て環境の充実につながる。

3 今後の予定

第1回保育所等のあり方検討委員会では、入園児利用調整を早急に進めるとともに、今後保育園の再編を進めることが必要であるとの結論が出されました。

今後は、保育園の再編に向けた具体的な内容が協議されますが、その際には、保護者や地域の皆様の意見を伺う機会を設け、子育て環境の充実のため、よりよい再編の方法を検討していきます。

※第1回保育所等のあり方検討委員会の資料及び会議録は、市のホームページに掲載しています。

URL: <https://www.city.omachi.nagano.jp>（市ホームページトップページ）

市民の方へ→子育て・教育→保育園・幼稚園・児童センター→保育所等のあり方検討委員会